

未歸還者資料局

昭和二十一年九月八日

關係世話録

世話録兼印

現住所

勤務

月日

國有兵 船五第一野戦補給隊

船六二四二部隊

上等兵

本籍

船五第一野戦補給隊

隊六二四二部隊

死亡原因

死亡場所

死亡年月日

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

備考

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

戦病死

備考 一、死亡原因の不明なものは、世話録の記載が不明な場合は、備考欄に「戦病死」と記入する。また、備考欄に「戦病死」と記入する場合は、備考欄に「戦病死」と記入する。

11041

11043

此

本籍地

所屬部隊

後其年

現認證明書

南方軍路戰貨物廠

(威第...六三部隊)

陸軍經技准尉

昭和三十年九月二十日

米軍收容所内病院

戰病死 (榮養失調)

死亡年月日
死亡場所
死亡原因
死亡狀況

台正に現認し證明す

昭和三十三年三月十七日

現認者 所屬部隊通称號(南方軍路戰貨物廠)(威第...六三部隊)

現住所

旧職官年級(陸軍)

陸軍少尉

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱並) 威第... 九部隊
- 一、徵集年 昭... 兵種 騎重兵
- 一、官等(死歿前) 一等兵 (死歿後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 前線 [Redacted]
- 一、死亡區分並事由 戦中死歿 [Redacted]
- 一、死歿年月日時 昭和... 年... 月... 日... 時
- 一、死歿者本籍地留守担当者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和...年...月...日

元所属部隊名

現住所

元官等級

氏名印

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナシタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先

地方世話部慰恤係

死亡事實(現認)證明書

本領地

現住所

所屬部隊 カミヤバシ 第... 隊司令部

徵集年

官等級
氏名

右ノ者昭和二十一年十月四日三時

シヨ カミヤバシ 分隊中ニ於テマラリヤニ依リ戦傷

病死シタルポトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年 四 月 三 日

所屬部隊 カミヤバシ 隊名 第... 隊 職名 隊長 種

官等級 中尉 氏名

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等詳細シアルモノハ詳細ニ

二、職名ハ中・小隊長、班長、操縦士等ト詳記ス

(封入)

20-12

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 成軍第一〇九部隊

二、戦歿年 昭和二十年六月二十日 兵種 砲兵

三、官位(死後) 少佐 (死後)

四、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

五、死歿場所 [Redacted]

六、死亡原因(事由) 砲兵勤務中に敵機襲撃を受け死亡

七、死歿年月日時 昭和二十年六月二十日 午後

八、死歿者本籍地(留守地) [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十年六月十八日 元所属部隊名 成軍第一〇九部隊

理住所 [Redacted]

元官階級 [Redacted]

氏名 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナニシテモ、戦時中ニ死亡シ、明確ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲ

シテ、シテ知ラセテ

宛先

地方世話部慰恤係

死亡證明書

所屬部隊 陸軍 〇五〇部隊 〇〇〇〇

陸軍 〇五〇部隊

官 氏名

〇〇〇〇

本籍 地名

〇〇〇〇

留年 担當 姓名

〇〇〇〇

死年月日

昭和三十年十月十五日

死場所

北島

死因

戰傷死

明

本

籍

地

所

屬

隊

藏

於

五

十

年

隊

隊

隊

隊

隊

隊

隊

隊

隊

隊

陸軍軍書

陸

2-13

1A39

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戶主名類柄

戶主

氏名

年

月

日生

二、所屬部隊

比島

派遣約

第三二四部隊

隊

三、戰死者徵集年

昭和二十二年

年

役種

予役

兵種

歩兵

死亡前官等級

陸軍上等

年月日

四、戰死年月日時刻及場所

昭和二十二年十月十五日

比島

三ノ木

アケ

サケ

サケ

サケ

サケ

サケ

五、戰死現認ノ程度

乙

既死

ハ

既死

ハ

既死

ハ

既死

ハ

六、遺骨歸還ノ有無

有

無

有

無

有

無

有

無

有

七、戰死當時ノ状況ノ概要

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

八、死亡區分

戰死

事由

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

深養大洞

九、其ノ他

無

無

無

無

無

無

無

無

無

二、遺族ノ現住所

無

無

無

無

無

無

無

無

無

戰死者ノ類柄

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年二月二十七日

證明者住所

戰死者ノ關係

所屬部隊名

比島

派遣約

第三二四部隊

隊

兵種

歩兵

官等級

陸軍

氏名

市町村長證明箇所

右ノ通り相違ナキコトヲ證明ス

昭和二十二年三月十七日

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 自衛隊第一師団第一旅団

一、戦年 昭和七年 役種 補充兵 兵階 上等兵

一、官等(死後前) 一等兵 (死後後)

一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

一、死歿場所 [Redacted]

一、死亡区分(理由) 戦死

一、死歿年月日時 昭和七年 四月 二十九日

一、死歿者本籍地留守所住者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和七年 一月 十日 日 元所属部隊名 陸軍第一師団第一旅団

現住所 [Redacted]

元官等 補充兵

氏名印 [Redacted]

注 死亡理由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズ者ハンノ前後ヲ
シワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

寫

死亡現認證明書

昭和 22 年 7 月 25 日

66-12

死 者 名				所 屬	本 籍 地	死 亡 前 の 階 級	死 亡 場 所	死 亡 年 月 日	死 亡 區 分	受 復 箇 所	遺 留 品	現 認 事 由	
[Redacted]				國有各飛行隊甲五戰隊三中队 通函号 前奉一〇六九四部隊	[Redacted]	陸軍 軍曹	[Redacted]	レイテ島 夜間攻撃に於て	昭和 22 年 7 月 25 日	生死不明		ナシ 終戦迄部隊主リ内地帰還 ニシテ 飛病年月日	昭和二十二年七月九日未軍レイテ島に上陸せる為飛行隊四十五戰隊は戦力以て「レナグロ」島にララヤに飛行場を築き、レイテ島に敵飛行場群物資集積所陣地及船団改竄を続行すニシテ、甚中隊所属軍曹 [Redacted] は昭和二十二年十月二十日(指定)午後九時頃、中尉操縦士が飛行機(三式複座機)の後方射撃として同乗レイテ島「レナグロ」島に飛行場夜間攻撃を行く時、飛行場を火撃すも尚後連絡不能航続時間を経過するも帰還せず、行き不明、尚當時の戦況より戦死と算定大行りと推定せらる。
注 意			一 現認事由に死亡當時の情況を極力詳細に記入す	二 確度(甲)正確、(乙)概略正確、(丙)概略、(丁)必し記入す(弱行年日)	三 氏名の下に隊印を忘れぬこと	四 故人との関係や中隊長、分隊長、戦友、或は人手録等記入							
証 明 者			本 籍 地	現 住 所	階級及故人との関係	氏 名							
[Redacted]			[Redacted]	同右	元陸軍曹長 戦友	[Redacted]							
元所屬			國有各飛行隊四十五戰隊本部 通函号										

死亡事實現認證明書

本籍地

現住所

所属部隊 隊 第 三 三 三 部 隊

召集年 昭 和 三 十 年 官 等 級 少 佐 軍 兵 長

右ノ者昭和三十年十一月三日 七時
三十分 於テアメリヤニ依リ戦傷
病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三十年十一月三日

所属部隊 職 名 中 隊 筆 生

隊 第 三 三 三 部 官 等 級 少 佐 軍 兵 長

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判別シアルモノハ詳記ス

二、職名ハ中、小隊長、砲手、探照手等ト詳記ス

8-11

1843

現認證明書

本籍地	██████████
所屬部隊	第一五九一部隊
官軍級次名	陸軍上等兵
發病場所	██████████
受傷年月日	
病傷名	
死七場所	比島中野サカバロ東方五村マシニ東方八村(山中)
死七區分	戦死
死七年月	昭和三十年十月七日
摘	
右現認	██████████
陸軍部長	第一五九一部隊
	██████████

5-11

<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>
<p>現住所</p>	<p>比島孤遺翁ニニニ部隊中軍隊</p>

上等兵

昭和二十一年 月 日 公 號

地方世話部 死亡者認定票

昭和二十一年 月 日 製
課 務 業 守 部

本籍地 [Redacted]
所屬部隊名 固有名 [Redacted]
通稱名 [Redacted]

年 齡 昭 七
種 役 現
級 等 官 步
前 亡 死 上
後 亡 死 [Redacted]

死 亡 年 月 日 昭 二 〇 八 廿 一
死 亡 區 分 公 前 庄
死 亡 場 所 此 處 某 方 海 上 復 員 船 八 八 才 製 船 四
傷 病 名 心 臟 麻 痺

現 傷 所 [Redacted]
親 屬 姓 名 [Redacted]
氏 名 [Redacted]

復 員 申 請 狀 友 七 七 看 護
右 現 認 者 姓 氏 [Redacted]
現 認 者 住 所 [Redacted]

所 屬 部 隊 名 陸 軍 第 一 〇 五 五 部 隊
停 年 名 稱 頁 [Redacted]

決 判 路 經 手 入 料 資 及 料 資 查 認 定

官 除 級 級 檢 點
認 定 進 級 告 知 記 錄
印 檢 點

1211

課長	係長	部長	主任	課長	部	隊	公	報	退	付			
整理番	所屬部隊	徴集年	本籍地	留守現住所	留常番	死亡年月日時	死亡原因	死亡直前の職務	料	手	入	料	資
昭和二十二年 九月 二日	死亡者調査表 昭和二十二年 七月十一日 調製	昭和二十二年 六月 一日	〇六八一	〇六八一	父 右衛門	昭和二十二年 十一月 十六日 十五分	甲 死亡原因 傷病 大腸カタル	遺言遺留品の状況	右現認す	見所及給經の	手	入	料
〇〇〇	〇六八一	上等兵	〇六八一	〇六八一	父 右衛門	甲 死亡原因 傷病 大腸カタル	遺言遺留品の状況	右現認す	見所及給經の	手	入	料	資
〇〇〇	〇六八一	上等兵	〇六八一	〇六八一	父 右衛門	甲 死亡原因 傷病 大腸カタル	遺言遺留品の状況	右現認す	見所及給經の	手	入	料	資
〇〇〇	〇六八一	上等兵	〇六八一	〇六八一	父 右衛門	甲 死亡原因 傷病 大腸カタル	遺言遺留品の状況	右現認す	見所及給經の	手	入	料	資

本表中の注記は、原則として第一世話課にて記入すること。
 不備事項中の判明しあるものは各班にて採得すること。

昭和二十二年 九月 二日
 第一世話課 第 〇〇〇 号
 民生部第一世話課

35-19

1847

魂認證明書

通稱

固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

死 本籍地
 通稱
 固有名

昭和二年七月
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 威 言六九部隊

二、徵集年 昭 十七 役種 兵 兵種 騎兵

三、官位(死後勲) 正 第 兵 (死後後)

一、氏 名

二、西武野郎 南ルンボシヨ

三、死因(分位)事由 本シヨ河原河ノ際河津山麓

一、死歿年月日時 昭 十七 年 十二月 十三日 才夫時 北

二、死歿者本籍地(留守地) 北

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名 威 言六九部隊

現 住 所

元官位 陸軍 兵 長

氏 名 印

註 死亡事由、場所ハナクシテ、戦後ニ於テ死亡ハ明細ニ生死不明ニナリタ者ハ之ノ前後ヲ

先

地方世話部 慰恤係

認定

戰時死亡者現認證明書

昭 21.1.21	時 日 月 年	死
43 島	所 場	
博愛 收容所	所 場	
フクヤ 蒸熱機 り 製造 トラクタ の 故障 修理 中 に 死亡 した	事 由	亡
戸 籍 地 上	種 別	遺 體 認 別
兵 卒	前 任	官 階 級
氏 名	姓	名
妻	本 籍	本 籍
	留 守 担 当 者 現 注 記	

行 理 部

現 注 明
川 原 船 隊

調 査 上 の 注 意

- 一 所 屬 船 隊 の 通 過 回 有 船 隊 名 の 判 明 程 度 を 記 入 コト
- 二 死 亡 概 況 出 発 時 限 限 り 詳 細 報 告 等 由 傷 病 等 上 陸 地 方 官 署 於 手 續 済 場 所 其 の 月 日 記 入 コト
- 三 コト 記 事 多 数 場 合 附 帯 添 付 記 入 コト 由 守 業 務 局 於 手 續 済 場 所 其 の 月 日 記 入 コト
- 四 遺 體 (遺 體 認 別) 備 有 無 有 無 有 無 場 合 何 処 有 無 現 地 上 陸 地 方 官 署 於 手 續 済 場 所 其 の 月 日 記 入 コト
- 五 同 一 人 二 對 二 切 調 査 コト

信 寄 船 氏 名

上 陸 地 方

上 陸 日 月

昭 21.1.21

13-11

死亡者 補綴 證明書

一、死亡者前部隊名 國府名 第一〇航空情報隊

一、徵集年(任官年) 役種現 兵種現 昭和十六年徵集 威一九一六部隊

一、死亡者本籍地

一、官等級(發令年月日) (昭和十六年一月二十三日) 死亡後職軍令

一、氏名 [Redacted] 年 月 日

一、死亡年月日時刻 [Redacted] 昭和二十年一月二十三日 午後十時 分 戦死

一、死亡場所 ルンニヒ ダライケフィールド 五、各本郷(自衛隊)

一、死亡理由 [Redacted] 戦傷病死に在りては傷病名及び受傷 状況(ケガ) 説明 鐵道頭部直

一、遺骨遺留品の状況 [Redacted] 遺骨遺留品 状況 昭和二十年一月二十三日 戦死

右確証證明す

元所屬部隊名 [Redacted]

現住所 [Redacted]

元官等級氏名 [Redacted]

發令年月日上極地 昭和二十年十二月 日 各本郷(自衛隊)

死亡事實現認證明書

本管地

現在所有員

所屬部隊 威勃第二〇三部隊

召集年 昭和十七年 官等級 陸軍少長
氏名

右ノ者昭和二十一年一月 日 時

分ノ兵士於之ヲ引リテニ依リ戰傷
病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十二年 月 日

所屬部隊 威勃第二〇三部隊
職名 指揮兼文書係即年
官等級 陸軍少長
氏名

官等級 陸軍少長

氏名

氏名

注 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ併記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、探照手等ト併記ス

01-10

本籍地
遷住所

合右

所属部隊名

官階級

威五三三部隊

死亡場所

フィリピン
米軍収容所内病院

区分

戦病死

日時

昭和二十一年三月

傷(病名)

マリアヤ第榮養大調

留守担当者住所

續柄氏名

長男

古證明す

昭和二十五年二月

住所
官氏名

海軍第十七島嶼調査班

海軍一等整備兵曹

印

9-11

姓名
 職名
 階級
 部隊
 備考

戦死者證明書

一 死者姓名
 一 死者階級
 一 死者部隊
 一 死者死因
 一 死者死時
 一 死者死所

一 氏名

一 死歿場所

一 死歿年月日時

一 死歿者本籍地官守階級等

右確認(證明)又

昭和三年三月十五日

元河馬部隊長 威 第三大工部隊

現 住 所

元官等級 兵長

氏名 印

在死者證明書中

寫

右

中三 飛高野

八六八 威 野

昭和二十二年 三月 十日

陸軍省 陸軍司令部 陸軍省 陸軍司令部

長兵 野

文 合上 野 野

[Redacted]

戦死證明書

一、戦死者本籍地

戸主名横柄

戸主

氏名

弟

二、所屬 固有部隊名
通稱部隊名

比島

派遣隊

第五三一部隊

三、戦死者徵集年

昭和16年

「役種現役」兵種航海兵

死亡前官等級

陸軍少佐 任官進級昭和十五年三月一日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和十五年五月一日

佐伯市西郷三丁目

不ケ口入島山

五、戦死現認ノ程度

死体確認

六、遺骨歸還ノ有無

無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

爆撃機に遭撃し、衛生材料不足

年 月 日生

6-12

亦其ノ他(他部ノ)...

二、遺族ノ現住所

戦死者トノ續柄

氏名

母

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和ニ年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

同年兵 戦友

此島坂運成部隊 一五三

兵種技術 官等級 陸軍 伍長

氏名

印

市町村長證明箇所

6-13

1858